

令和6年度 「世界青年の船」事業 Ship for World Youth Program 2025



世界青年の船とは

What is the Ship for World Youth program (SWY) ?

- 「世界青年の船」事業は、1967年に明治百年事業の一つとして開始された「青年の船」事業が、1988年に時代の変化に対応した事業内容に変更され「世界青年の船」事業として改組されたもの。
- 世界各地の青年が集い、ディスカッションや文化交流等を通じて、異文化対応力、リーダーシップ力などの向上を図り、社会貢献ができる次世代グローバル・リーダーとなる青年を育成するとともに、グローバルな人的ネットワークの構築を目的として実施する。



SWY2025:

参加国



アルジェリア民主人民共和国



オーストラリア連邦



ブラジル連邦共和国



ジブチ共和国



エジプト・アラブ共和国



オマーン国



パナマ共和国



ペルー共和国



ポーランド共和国



セネガル共和国



スリランカ
民主社会主義共和国



スウェーデン王国

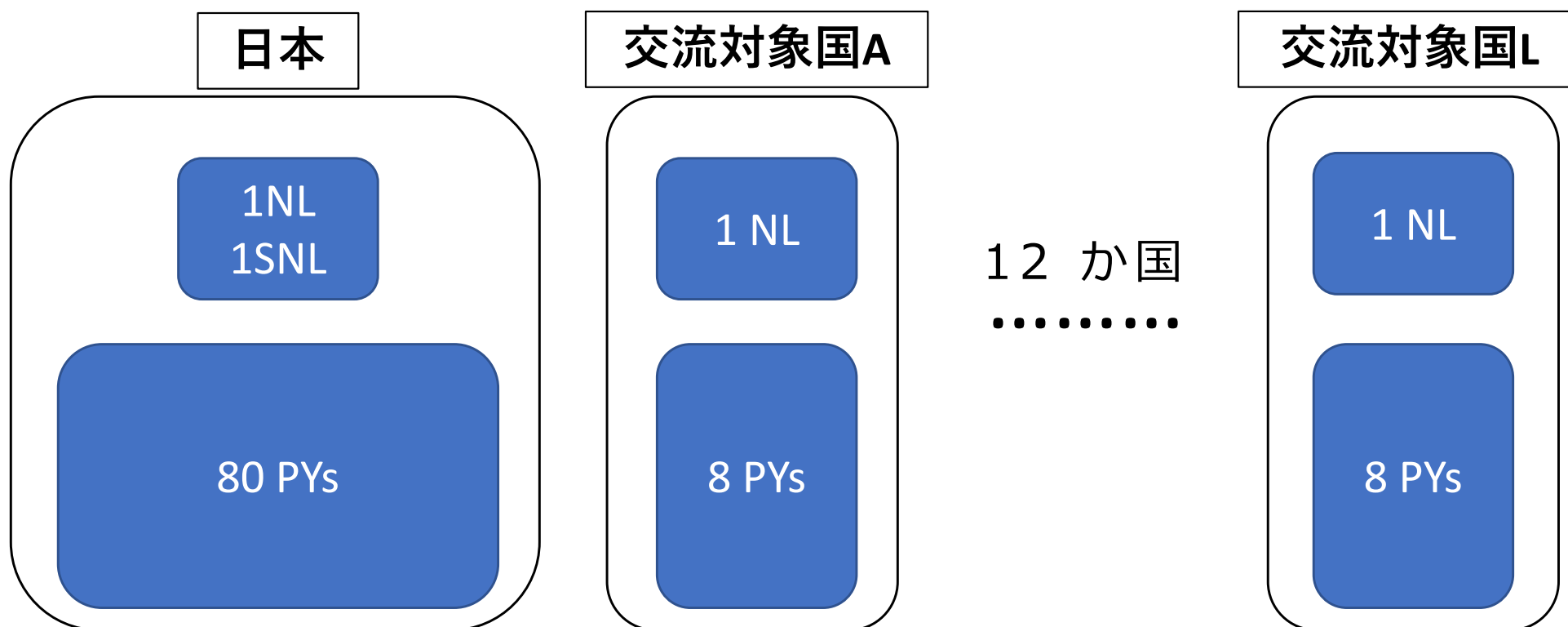


日本

SWY 2025 : 参加者

■ 国ごとの参加人数

- ・ 交流対象国：各国ナショナルリーダー(NL)1名、参加青年(PY)8名
- ・ 日本：ナショナルリーダー 1 名、サブナショナルリーダー 1 名、参加青年80名



■ **合計: 176 PYs + 13NLs + 1SNL = 190人**

*NL = National Leader, SNL= Sub-National Leader, PY = Participating Youth

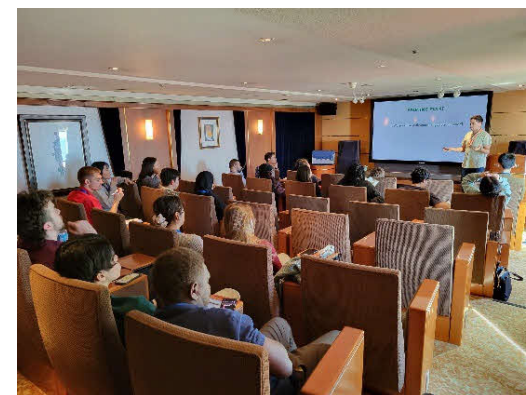
SWY 2025 : 参加者

■ 参加資格 ※下記以外にも参加資格あり

- 参加青年の資格
 - ・2024年4月1日時点で18～30歳
 - ・ディスカッションできるくらい英語が話せる
- ナショナルリーダーの資格
 - ・リーダーとして自国の参加者を統制できる能力を有する
 - ・30代くらいの年齢が望ましい

■ 選考方法

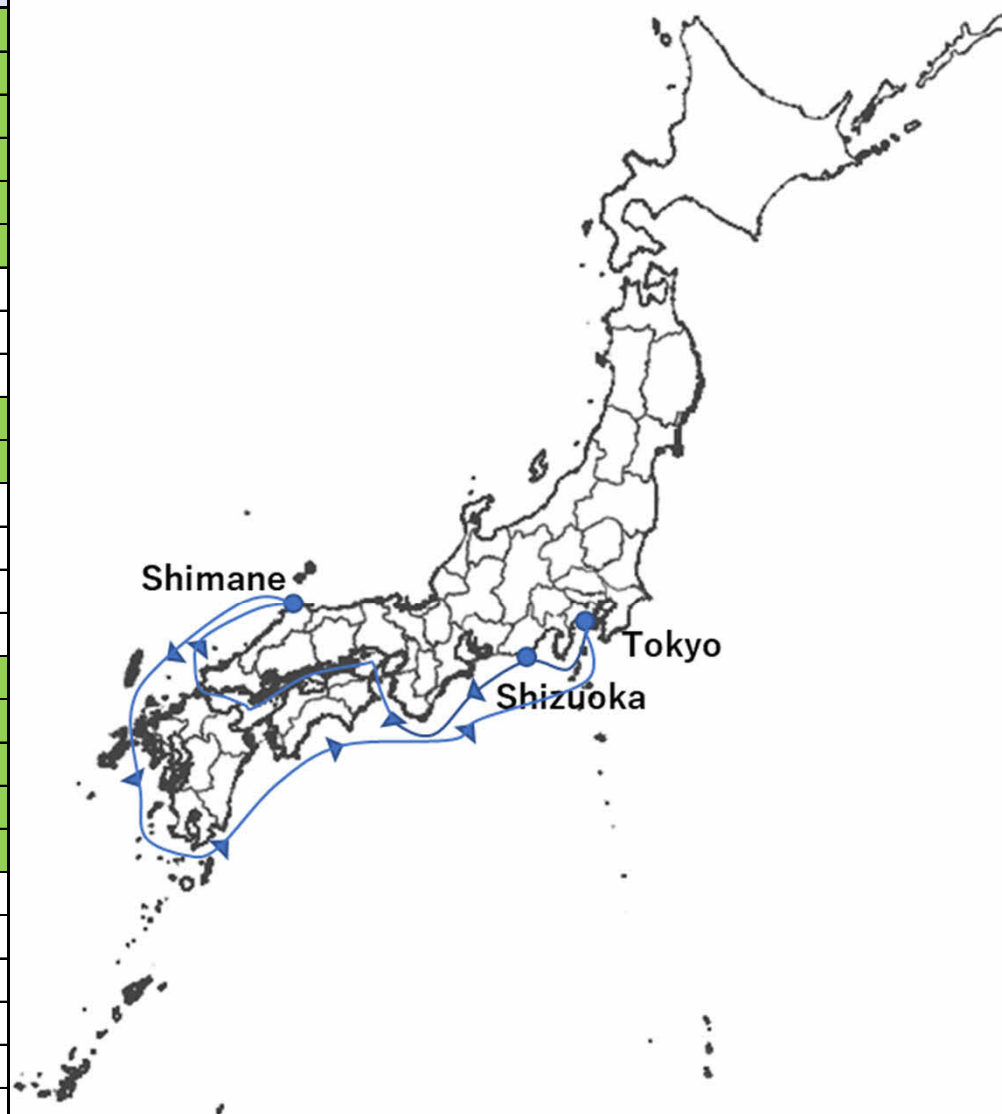
- 日本参加青年
 - ・Webテスト、日本語及び英語での面接
 - ・6月上旬に合格者決定
- 外国参加青年
 - ・各国政府等が選考し内閣府に推薦
(推薦×切は9月中旬ごろ)
 - ・内閣府が決定



SWY 2025 : 事業日程（案）

■ 1月24日～2月21日 本体プログラム

	日付	活動内容
DAY1	1月 24 金	各国ナショナルリーダー、参加青年、ファシリテーター来日&集合
DAY2	25 土	東京プログラム（オリエンテーション、参集式）
DAY3	26 日	東京プログラム（都内視察等）
DAY4	27 月	東京プログラム
DAY5	28 火	東京プログラム、乗船
DAY6	29 水	オープンシップ、出航式、東京港出港
DAY7	30 木	航海
DAY8	31 金	航海
DAY9	2月 1 土	航海
DAY10	2 日	御前崎港入港、地域訪問活動（静岡県）①
DAY11	3 月	地域訪問活動（静岡県）②、御前崎港出港
DAY12	4 火	航海
DAY13	5 水	航海
DAY14	6 木	航海
DAY15	7 金	航海、浜田港入港
DAY16	8 土	地域実践活動（島根県）①
DAY17	9 日	地域実践活動（島根県）②、浜田港出港
DAY18	10 月	境港入港、地域実践活動（島根県）③
DAY19	11 火	地域実践活動（島根県）④
DAY20	12 水	地域実践活動（島根県）⑤、境港出港
DAY21	13 木	航海
DAY22	14 金	航海
DAY23	15 土	航海
DAY24	16 日	航海
DAY25	17 月	航海
DAY26	18 火	航海
DAY27	19 水	東京港到着
DAY28	20 木	東京プログラム、（成果発表会、解散式等）
DAY29	21 金	下船、帰国



*ご引見及び総理表敬を東京プログラム中又は帰国前に実施予定

*航路はイメージで変更の可能性があります

事業の様子

東京プログラム



参集式



野外活動



オリエンテーション



内閣総理大臣表敬訪問



事業の様子

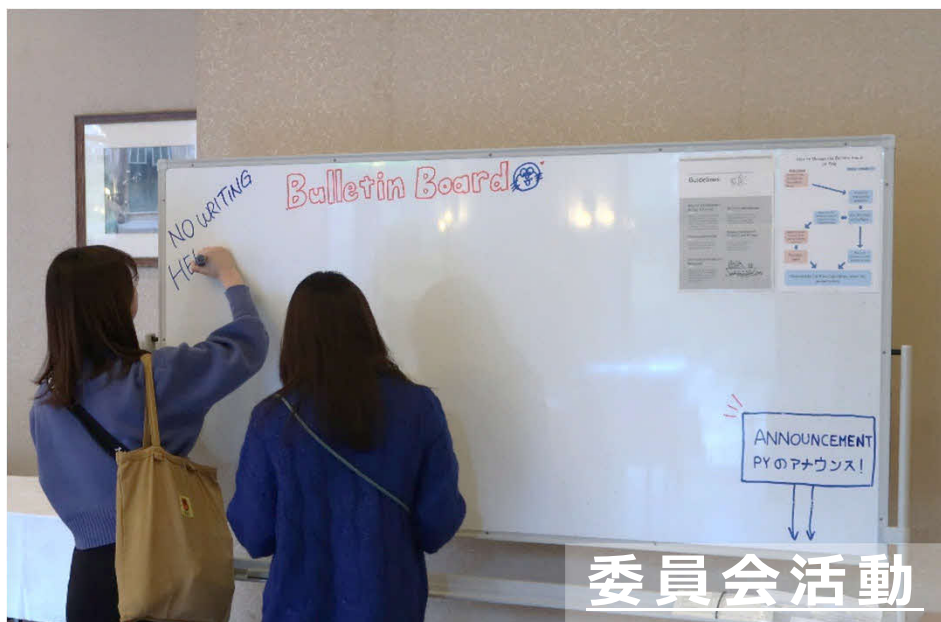
船上活動①



出航式



コースディスカッション*



委員会活動



自主活動

SWY 2025 : コースディスカッション

●コースディスカッションとは:

- ・参加青年は8つのコースディスカッショングループのいずれかに所属する
- ・コースディスカッションでは、下記のテーマについてファシリテーターの指導の下ディスカッションを行う
- ・島根県の地域実践活動では、コースディスカッションに関連する活動を行う
- ・各コースディスカッショングループは1グループあたり23名程度

●ディスカッションテーマ:

1. Community design utilizing local resources
(地域資源を活用したコミュニティ・デザイン)
2. Inheritance of traditional culture
(伝統文化の継承)
3. Quality education
(質の高い教育)
4. Environmental conservation
(環境保全)
5. Social inclusion of migrants in local community
(移住者との共生)
6. Tourism promotion utilizing local resources
(地域資源を活用した観光促進)
7. Youth Empowerment in rural areas
(地方における若者の活躍促進)
8. Quality welfare services
(質の高い福祉)



事業の様子

地域訪問活動



文化体験



施設訪問



表敬訪問



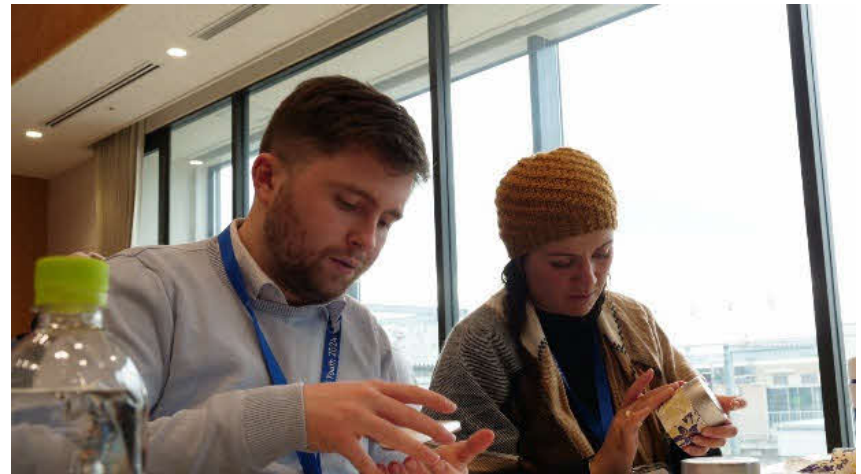
野外活動

SWY 2025 : 地域訪問活動 (Cultural Experience Session)

■地域訪問活動とは:

- 地域の魅力や日本の文化を体感するとともに、地元の青年との交流を図るべく、以下の各種活動を実施。
 - ・船上レセプション
 - ・表敬訪問
 - ・施設等視察
 - ・文化体験
 - ・地元青年との交流
- 各日程のイメージ
 - (1日目) オリエンテーション
ビーチクリーン活動
施設訪問
船上レセプション
 - (2日目) 地元小中高校生と交流
施設訪問

※地域訪問活動の内容については静岡県実行委員会で準備中



文化体験の様子

事業の様子

地域実践活動



野外活動



地元青年とのディスカッション



施設訪問



地域実践活動成果発表会

SWY 2025 :

地域実践活動 (Project Based Learning session)

● 地域実践活動 (英語表記 : Project Based Learning session*) とは:

*略称は「PBL」

- 1 地域で現実に抱えている課題をテーマに設定
- 2 テーマについて事前にディスカッション・準備を行い、青年たちが現地入り
- 3 コースディスカッションテーマで分けられた8グループが、社会課題の解決に取り組む地域のNPOや地元企業等における体験・意見交換等を通じてテーマに係る理解を深めながら、課題解決に向けた実践活動を行う。

● 各日程のイメージ

(1日目) 施設訪問

(2日目～4日目) オープンシップ、地域課題解決に取り組むNGO及び地元企業並びに地元青年等と意見交換及び交流等、プロジェクトの実践、表敬訪問

(5日目) 成果発表

※地域実践活動の内容については島根県実行委員会で準備中



事業の様子

船上活動②



各国文化紹介



成果発表



解散式



解散交歓会

世界青年の船の歴史



歴史

1967 -
「青年の船」事業開始

1988 -
「世界青年の船」事業開始

2021 - 2022
オンライン開催
※新型コロナウイルス感染症の影響

2023
日本に集合し、船を利用しない様式で開催

2024 -
船の利用を再開し開催
※ただし、2024-2025は国内航路で運航



出航式(1968)



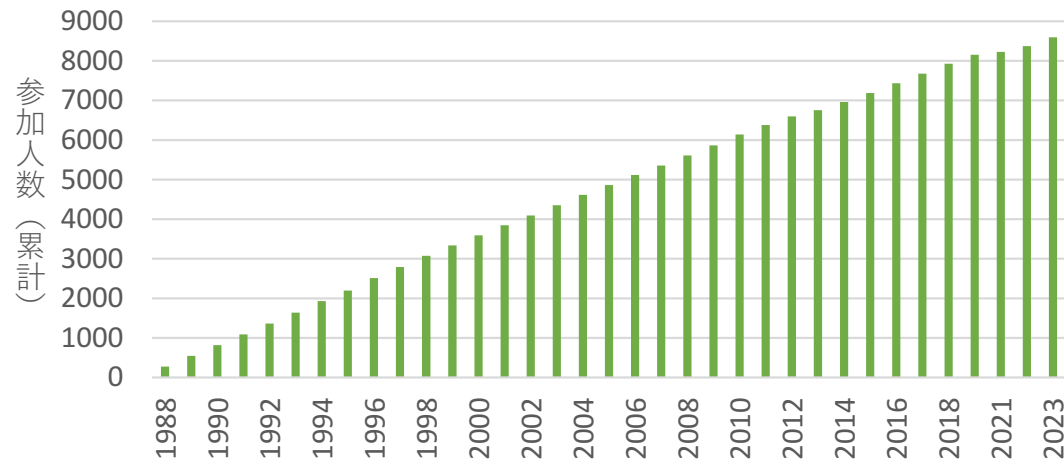
パナマ運河航行(1989)



オンライン開催の様子

今までの参加人数 (2024年4月時点)

● 青年 **8592 名** (うち日本人 3861 名)



● 参加国数 **70か国** (日本含む)

